

数における女性医師の割合は22.8%となっている。診療科別の女性医師割合をみると、産婦人科は43.4%と上位を占めている。厚生労働省の調査で、産婦人科における長時間労働の医師の割合は11.8%と、救急科・外科・脳神経外科に次いで高い。時間外労働の多い科では女性医師は少ない傾向にあるが、産婦人科に女性医師が多い理由は、女性を対象にする科であること、ワークライフバランスの確保が比較的にされていることなどが考えられる。

日本における女性の労働率は、結婚・出産期に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するM字カーブを描くことで知られている。近年は、女性の社会進出や仕事と家庭の両立支援の向上により、M字カーブは解消されつつあるが、女性医師に限ると今もなおM字カーブの傾向があり、対応が急務である。

三重県では、医局員の増員や分娩取り扱い施設の集約化など、産婦人科の人員確保に取り組んでおり、分娩取り扱い二次施設の医師数は、2011年度の50名（うち女性医師14名）から2023年度には79名（うち女性医師35名）に増加している。分娩取り扱い二次施設については、2011年度の10施設から集約化を行

い2023年度には7施設となった。また、個々の希望に沿ったキャリア形成を推進しており、仕事にやりがいを持てる環境の整備に努めている。三重大学産婦人科医局では、女性医師のために「三重レディースクリニック」を設立し、多様な働き方を実現している。

2024年4月より、医師の時間外労働について、連続勤務時間制限28時間や勤務間インターバル9時間などの規制が適用される。本学では、当直明けは帰宅すること、カンファレンスは勤務時間内に行うこと、土日祝日は交代制とするなどの改革を行っていく。

医師のワークライフバランスを保つためには、人員確保は必須である。必要な人員がいなければ働きやすい環境の整備は難しい。個々の多様性を尊重したキャリア形成が一番の理想である。

◇

続いて、総合討論ではシンポジストと参加者の間で活発な意見交換があった。

その後、次期担当県の香川県医師会・久米川会長より、令和6年4月27日（土）に高松市にて開催予定であると挨拶があり、盛会裡に終了した。

## 北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

### 投稿要領

#### 1. 原稿の締切

毎月5日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

#### 2. 原稿の体裁と字数制限

(1) 原則として横書きといたします。

(2) 引用文以外は、すべて常用漢字、現代かなづかいを使用してください。

(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。

(4) 1回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は2頁、「会員のひろば」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

#### 3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容

(2) 匿名の投稿

(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）

ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない

(4) その他掲載に支障がある内容

#### 4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課

TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090

E-mail: ihou@m.douji.jp